

ファイルとフォルダ

Codexに「どこで作業するか」を渡すための準備です

Codexに最初に渡すのは、「どのフォルダで作業するか」です。

何を作るかより先です。作業する場所を決めないと、Codexは1文字も書けません。

実際に、この画面で渡します

第2章で自分の手で開きます。今は「こういう画面が出るんだな」とだけ見ておいてください。



「プロジェクトを選択」で作業する場所を渡します（実機・2026年8月）

**ここで「どのフォルダ？」に答えられない
と、この先へ進めません。**

だから、先にパソコンの中を見ます



ファイルとは、1枚の紙のことです。

写真も、書類も、表も、ぜんぶ「1枚の紙」だと思ってください。パソコンの中に何百枚も入っています。

フォルダとは、紙を入れる箱のことです。

紙が増えると探せなくなるので、箱に分けて入れます。やっていることは机の引き出しと同じです。

■ 箱の中に、箱を入られます



ここが最初の山です。箱の中にまた箱が入る、という形を覚えてください

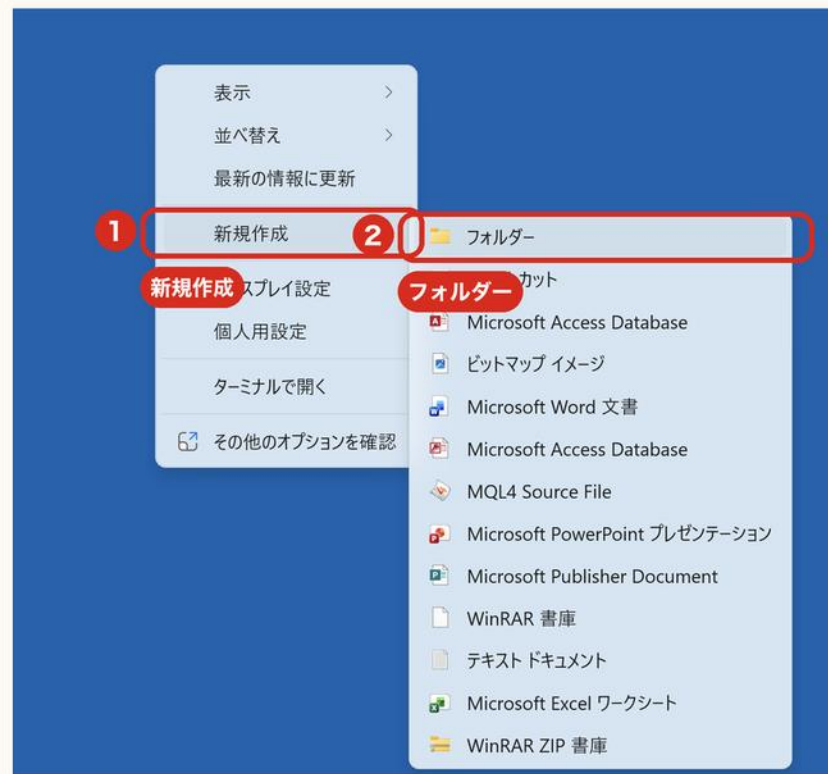
いつも見ている画面（デスクトップ）も、 箱の1つです。

机の上に並んでいるように見えますが、あれは「デスクトップ」という名前の箱の中身です。だからこの後、その中に自分の箱を作ります。

1

何もない所を右クリックして、箱を作ります

デスクトップの、アイコン（小さな絵）が何もない所で右クリック（マウスの右のボタンを1回押す）します。すると、選べるものの一覧（メニュー）が出ます。



「新規作成」→「フォルダー」の順に選びます

2

名前をつけて、Enterキー（決定のキー）を押します

名前は `codex` と入れてください。この先ずっと使う箱です。日本語の名前でも動きますが、後で引がかかることがあります（理由は1-5で説明します）。



Enterキー（改行のキー）を押すと、こうなります

この回で残るもの

自分の箱が1つ、デスクトップにできました。

これが第1章のあいだ、ずっと使う場所になります。